

ヒバクシャ国際署名



HIBAKUSHA APPEAL

「ヒバクシャ国際署名」の力で「核兵器のない世界」への扉をひらこう

「9月26日核兵器廃絶国際デー」に「ヒバクシャ国際署名」をすすめる長崎県民の会発足



今年4月、被爆者が71年目にして「被爆者はすみやかな核兵器廃絶を願い、核兵器を禁止し、廃絶する条約を結ぶことをすべての国に求めます。」と署名運動を提起しました。

署名は日本被団協代表委員の谷口稜暉さんをはじめ、世界の被爆者9名が呼びかけ、長崎では「被爆者5団体」が揃って賛同を呼びかけています。

国連において、核兵器を禁止し廃絶する条約についての実質的な議論が開始される、新たな動きの中で提起された「ヒバクシャ国際署名」、県民共同の運動へと、「ヒバクシャ国際署名」をすすめる長崎県民の会発足となりました。

代表賛同人には中村法道県知事や田上富久長崎市長、長崎平和推進協会理事長の横瀬昭幸さん、核兵器廃絶地球市民集会ナガサキ実行委員長朝長万左男さん、県生協連やノーモア被爆者訴訟弁護団、原水協、原水禁など、たくさんの賛同が寄せられています。「県民の会」共同代表に被爆者の谷口稜暉さん、地球市民集会実行委員長の朝長万左男さんで県民共同の運動を展望しています。

発足の会では被爆5団体の訴えやカトリック長崎大司教の高見三明さんなどの賛同人挨拶、被災協のボランティアされてる青年の発言、「ヒバクシャ国際署名」連絡会からは長崎出身の林田光弘さんが挨拶しました。

「ヒバクシャ国際署名」は「賛同の訴え」が大きな力であり、被爆者の思いつなぐものです。そして、「核兵器禁止条約」に向けた大きな流れがある一方で、核保有国の抵抗も激しい。核使用の危険性もなくなっていない。この事態を切り開くものは国際的な運動と世論の発展であり、そのカギは「ヒバクシャ国際署名だと言えます。」



県内有権者の半数の50万筆を目標に ○自治体との協働を発展させる。 ○賛同団体や賛同者の広がりをつくる。 ○被爆者とともに、あらゆる団体への申し入れ。 ○署名運動と結んだ被爆の実相普及。 ○毎月26日を署名の日。そして2017年の禁止条約の交渉会議を見据えた運動の展開をはかる。など目標を決め、運動の推進をはかることとしています。

「賛同の訴え」を受け止めた団体・個人の自覚が、次から次へと署名運動の波をつくっていくように発展させていくことができる署名です。署名運動の長い歴史を持つ原水協が、まず行動することが共同を広げることにもなります。9日・26日行動を起こしましょう。

愛と平和の「ちひろカレンダー」を被災地に！ 募金にご協力を

3・11以後毎年被災地へ、「かわいい絵で癒されます。」との声に応じて今年も贈ります。県原水協でとりまとめて送金します。ワンコインでも結構です。募金の送り先は郵便振替口座 01810-8-21283 原水爆禁止長崎県協議会(被災地募金と明記)

2016 World Conference against A&H Bombs 原水爆禁止2016年 世界大会の記録

核兵器のない平和で公正な世界のために



原水爆禁止世界大会実行委員会

「ヒバクシャ国際署名」をすすめるエネルギーとなる原水爆禁止2016年世界大会記録集。

「核兵器のない世界へ」この流れを生み出した根本的な力は被爆者を先頭にした世界の平和運動。流れを学び2017年へ禁止条約の交渉開始を求める世界の世論と運動発展させる力になります。世界大会報告会などで必携の記録集です。

(B5版 約200ページ) 頒価1,500円

ご注文は長崎県原水協まで。

核兵器のない平和で公正な世界を 原水爆禁止長崎県協議会

Gensuikyo news 2016/10/04

〒850-0035 長崎市元船町5-11-402 TEL 095-895-9106 FAX 095-895-9102